

## 解説

文化人類学からみた「私の中のあなた」

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター  
池田 光穂

1

## 民族学と文化人類学

- ・ 民族学とは、世界のさまざまな民族における社会や文化などを調べる学問です。
- ・ 文化人類学とは、民族学の研究成果にもとづいて「文化」という概念を中心に、経験主義的な実証調査法（＝インタビューと参与観察）を使って、考察する学問分野です。

2

## 医療人類学

- ・ 医療人類学とは、民族学や文化人類学の知見を使って人間にとっての「医療」や健康のテーマを研究する学問分野です。
- ・ 医療人類学が扱う「医療」には、現代の医学・歯学・薬学・看護学の分野のみならず、ひろく健康に関する人間の活動、すなわち健康維持法、薬草療法、宗教治療、さらには「迷信」と呼ばれるものまでをも含まれます。

3

## 医療人類学を学ぶには？

- ・ 私たちが生活する上で必要な「医療」とは、人間の生活全般に広く関わっています。
- ・ そのため、医療人類学を学ぶためには、(1)文化人類学の知識と、(2)近代医学の知識の他にも、(3)現代社会の政治や経済などの広い知識が必要となります。
- ・ このことを踏まえて「私の中のあなた」について探求していきましょう！

4

## 白血病とは？

- ・ 白血病とは、さまざまな種類がある病気で、血液のガンと言われます。遺伝子が変化した血液をつくる細胞が、骨髄のなかで増殖することで、感染症・出血・貧血など、さまざまな症状と病気を引き起こします。
- ・ ドラマのなかでケイトは白血病の一種である急性前骨髄球性白血病（APL）と診断されました。
- ・ アナはケイトの治療のために薬剤の注射、リンパ球や骨髄の提供をおこなってきたようです。最後にはケイトの救命のために腎臓の提供の可能性まで出てきました。

5

## 抗がん剤治療

- ・ 白血病の治療には抗がん剤が使われます。白血病の状態を押さえるために多種類の抗がん剤が使われることが多いのです。
- ・ 抗がん剤療法は、副作用も多様で強いために、注意深い経過観察が必要であり、また患者（患児）に苦痛を強いることとなります。
- ・ そのため新しい代替的治療方法（例：分化誘導療法）が模索されていますが、残念ながら、ケイトの治療にはなかなか功を奏さなかったようです。

6

## 骨髄移植

- 骨髄移植は、白血病の患者（もらう側：ケイト）に、正常な人【あげる側：アナ】の骨髄細胞を輸血する方法のことで。
- 【あげる側：アナ】白血球の一種の血液型（HLA）の一致がないと移植には使えません。移植される骨髄は、腸骨（骨盤の中で一番大きな骨）から太い注射針を注入して採取します。現在の技術水準では肉体的負担がまだまだある。

7

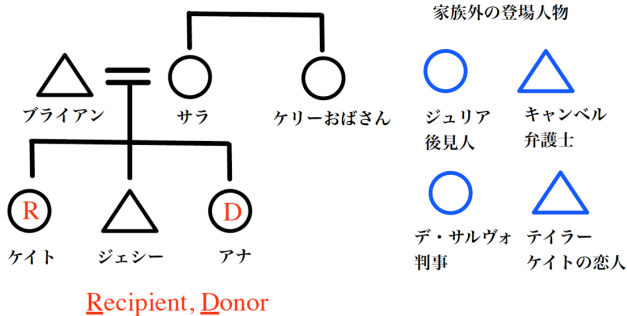
## 骨髄移植：もらう側

- 骨髄移植は、白血病の患者【もらう側】に、正常な人（あげる側）の骨髄細胞を輸血する方法のことで。
- 【もらう側】移植の前に、患者（患児）の白血病の原因を根絶やしにするために大量の抗がん剤と放射線照射がおこなわれます。これを前処置（＝狭義の治療には含まれない）と言いますが、それはこの治療のためには不可欠です。前処置は患者に多大な肉体的負担をかける。その後、骨髄からの輸血による移植が行われます。なお前処置によって将来、成長障害と不妊という危険性が生じる可能性があります。前処置が徹底化しないとより深刻になるという治療上のジレンマがあります。

8

## 映画『私の中のあなた』の家族関係

フィッツジェラルド家の人たち



9

## 人為的に加工した赤ちゃん

- デザイナーベビー（デザインされた赤ちゃん）とは、受精卵の段階で遺伝子操作をすることで、将来誕生した時に、なんらかの身体的特徴を持つように計画されて生まれてくる赤ちゃんを、こう呼びます。スベアパーツベビー（部品として利用される赤ちゃん）とは、同じく遺伝子操作をすることで、将来の予備の臓器保有者として生まれてくる赤ちゃんのことで。
- とともに人工授精という方法の発展と刷新により非現実的なものでもなくなりつつあります。

10

## 倫理的問題

- 親の望むように人間の生命を誕生させたり、子供の臓器を利用してもいいのでしょうか？
- 【はい】人間はそのように子供を産み育ててきました。ただ、それが現代科学の助けによって進展してきたにすぎません。
- 【いいえ】人間は技術的制約により、喜びや苦しみを乗り越えて道徳を作り上げてきました。現代科学の進展はその制約をとうとう破壊しました。だから何らかの対策は必要なのです。

11

## 倫理的問題への対処

- 【現状】禁止しても科学者たちは「当事者たちを救う」という口実で、これまでの慣習的違反を破ってきました。そして既成事実を積み上げてから、後戻りできないようにしてきた可能性があります。
- 【対策】何が可能で、何ができないのかという基準（ガイドライン）を専門家のみならず一般人も参加して立案検討し、社会的承認を得るという方法がとられるべきである。

12

## 法的問題

- 傷害罪
- 違法性の阻却（そきやく）
- 医療行為の管理権
- 利益の相反（そうはん）
- 後見人あるいは法定代理人

13

## 受容する文化の多様性

- 日常的な問題解決を医療技術の進歩に期待して、また実際に近代医療の技術に問題解決の比重をよりかけることを「医療化＝メディカリゼーション」と呼びます。先端技術を受け入れた先進国でも、受け入れ方が多様だった理由は、医療に対する文化の違いの影響だと言われています。

14

## 遺伝子への信仰

- 文化によって受け入れる態度に多様性がありますが、同時に共通する部分があります。それは治療に関して遺伝情報が比重が高まるにつれて、人間の本質を遺伝子に求める考え方、つまり「遺伝子への信仰」が先進国の人を中心に急速に普及してきたことです。これを遺伝子神話とかDNA神話と呼ぶことがあります。これは私たちの新たな信仰なのでしょうか？

15

## これからの勉強のために

- 池田光穂・奥野克巳編『医療人類学のレッスン』2007年、学陽書房
- 池田光穂『看護人類学入門』2010年、文化書房博文社

16